

山梨県若者海外留学体験人材育成事業 (高校生コース)

留学 (中間・結果) 報告書

私はカナダのブリティッシュコロンビア州、ソルトスプリングアイランドの **Gulf Islands Secondary School** に通いました。ソルトスプリングアイランドは信号もない、ショッピングモールもない、コンビニもない島です。17年間私が住んでいた日本、山梨とは全く違い最初は生活に慣れるまで必死でした。ホストファミリーの家の窓からは海が見え、近くにはヨットハーバーもあります。庭には沢山のグース、時には大きい鹿が現れることも。自然豊かな島での生活に楽しみと不安と緊張が入り混じったスタートでした。

学校には60人以上の留学生がいました。カナダは多国籍なので人それぞれ様々な文化や考え方を持っています。特に私のホストシスターがドイツからの留学生ということもあり日本との違いを生活する上で良い面でも悪い面でも見つけることが出来ました。それは私にとっては良い刺激にもなり、またよい発見ともなりました。

9月3日から学校が始まり、私は学校生活に慣れるのに精一杯でした。留学の一つの目標としてダンスを頑張りたいというのがあります。この学校の **GISPA** というダンスグループに挑戦することです。**GISPA** とは **Gulf Island School of Performing Arts** といって、**Dance**、**Act**、**Music** の3つに分かれていて、どれか1つオーディションを受け、合格者だけが入れる活動です。私は小さい頃からクラシックバレエを習っていたので、ダンスのオーディションを受け合格し入ることができました。最初はとても大変でした。私の英語の未熟さもあり、2回もオーディションを受けました。そして、私の踊りが認められて **GISPA** のメン



山梨県若者海外留学体験人材育成事業(高校生コース) 留学結果報告書

バーになることが出来ました。みんなとても優しく嬉しかったです。GISPAのダンスグループでは創作ダンスをすることが主な活動でした。私がこの1年間を楽しく過ごせたのはダンスのおかげだと思います。友達が沢山できて、自分に自信が持てるようになったのはGISPAの仲間と共に、1つの目標に向かい意見を言い合いお互いを認め合うということをしてきたおかげです。

学校の留学生プログラムでは、ロッククライミングやカヤッキング、サーフィン、カヌー、キャンプ、ホエールウォッチングなど初めてのことを体験しました。他国の文化を知り、全員母国語ではない英語で会話をするという空間がとても不思議な感じがして、楽しい経験となりました。島だからこそ体験できる自然との触れ合いは、とても貴重でした。



クリスマスはとても大変でした。クリスマス前に歴史的ストームが島を襲い、私がお世話になっているホストファミリーの家は約一週間停電が続きました。電気も電話線も遮断され、とても厳しい状況でした。家には暖炉がありましたが、真冬なので、とにかく寒かったです。ジェネレーターを借りて何とか生活に必要な分は確保しましたがそれでも大変でした。さらにホストマザーのお母さんも病気でクリスマスどころではありませんでした。ですが、夜はランプやパズルをし、ささやかながらクリスマスパーティもしました。ターキーを食べ、教会に行くなど初めての体験もたくさんしました。大変貴重な、とても思い出深いクリスマスになりました。



日本にいるときは自分の近くに親がいつもいます。ある程度のことはやろうと思っても実際カナダに行ったら、日本では何もできていなか

山梨県若者海外留学体験人材育成事業 (高校生コース) 留学結果報告書

ったなと感じました。カナダにいき、自分一人でやらなければならない状況だったからこそ自立できました。

留学を終えて分かったことは、自分の長所や特技が1番の武器になるということです。私自身、特技がこんなにも留学生生活を有意義なものにするとは思っていませんでした。最初の1か月は英語がわからない、友達もいない、自分が望んで来た留学なのにとっても不甲斐なく辛かったです。しかしこれでは駄目だと自分を鼓舞し、一つ一つできることから始めました。例えば笑顔です。ホストファミリーや学校で目があつた人、先生、町の人、その人たちにとにかく笑顔で Hi!とあいさつをたくさんしました。その積み重ねがあり、徐々に会話も増え友達も増え、気が付けば学校に通うことが楽しくなっていました。カナダではテレビのない生活だったのでホストファミリーと沢山会話をし、ときには日本食を振る舞ってあげました。

この留学を通して私は自分がどのような人物か、さらに深く知ることが出来ました。ものの見方も変わりました。今までは日本の中で日本人の主観で物事を読み取っていました。とくに LGBTQ への意識やどれだけ母国の文化を知っているかというところです。今の時代はグローバル社会とよく言われていますが、英語が話せれば良いというのが多くの日本人の考え方だと思います。しかし本当はそれだけではなく、自分を知り相手を知りさらに尊重することがグローバル社会に求められてくるのかと思います。考えは人それぞれですが、私は異文化での経験があったからこそ様々なことを視野に入れるようになりました。山梨でもより多くの方が意識してくれるような呼びかけ、または活動ができれば良いなと思います。

